

第67回ふじのくに防災学講座 「富士川河口断層帯を知る」

日時 平成26年5月24日(土)
13時30分～16時00分

会場 富士市消防防災庁舎7階大会議室
(富士市永田町1丁目100)

(多くの地元住民の皆様にご参加いただきました→)



<講演1> 13時30分～14時30分

講師 狩野 謙一氏(静岡大学 防災総合センター特任教授)

講演題目 「富士川河口断層帯の地下構造を探る
—プレート境界の実態解明と地震リスク評価の再検討—

(講演内容)

富士川河口断層帯周辺の地下構造を、反射法地震探査によって調査した。その結果、同断層帯は駿河トラフ底のプレート境界断層に連続する可能性が大きく、その活動性を従来よりも高めに見積もる必要があることが明らかになった。



<講演2> 14時50分～15時50分

講師 安藤 雅孝氏(静岡大学 防災総合センター客員教授)

講演題目 「地震の危険度とマグニチュードとは」

(講演内容)

専門家は、活断層に発生する地震の規模や危険度を推定している。しかし、数千年に一度起こると知らされても、私たちはどのように対処したら良いのだろうか。これらの数字の意味を理解し、将来の地震を正しく恐れる方法を考えたい。

